

## ○津軽森林管理署金木支署の「採材等現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和4年10月14日(金)に青森県中泊町の今泉山国有林で開催された「令和4年度 採材等現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は晴天のなか、林業関係団体や支署管内の林業事業者、インターシップの五所川原農林高等学校の生徒など総勢35名ほどの参加を得て開催され、今回の現地検討会ではスギと広葉樹の採材について検討を行ったところです。津軽森林管理署金木支署長の挨拶後、各地域における販売価格など東北の需要動向に関して青森事務所から説明、署の担当者から事業概要、採材指示内容、生産事業地における広葉樹の取り扱いや販売結果等について説明があり、その後、採材の検討に移りました。

5本のスギ全幹材について、支署管内の事業者ごとにインターシップの生徒も入り3班に分かれて採材方法の検討を行いました。検討結果を各班の代表者が発表し、スギ材にあった曲がりや節等の欠点について指摘あったのち、実際にチェーンソーで切断し、木口を見て腐れ等欠点の有無を確認。また、広葉樹については、青森県森連の担当者から採材に際して留意すべき欠点等について説明いただいたところです。

最後に青森事務所から、付加価値を高めるため、ヒバ大径木は4mの定尺にこだわらず出来るだけ長く採材して欲しいこと、スギ等針葉樹の一般材、合板材の4m採材の推進や適切な仕訳の徹底、作業日報の電子管理によってボトルネックの解消を行う「生産性向上の取組」に関して協力をお願いするとともに、労働災害の防止に努めるよう安全について講評させていただき、採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。



(高校生も一緒にスギの採材を検討)



(実際に切断して欠点の有無を確認)